

# 月刊 かわごえ環境ネット

2014年5月号 No.091

<http://kawagoekankyo.net>



かわごえ環境ネット

2014年5月1日発行

編集・発行：かわごえ環境ネット

## 目次

川越の自然を訪ねて (20) チョウの紹介 (その1) セセリチョウ科 …… 2	
かわごえ環境ネットからの募集 (4 題) ……	3-5
会員からの報告 (3 題) ……	5-10
川越市からのおしらせ (1 題) ……	10
理事会・専門委員会からの報告 (5 題) ……	10-12
おしらせ・広報委員会からのおしらせ ……	12-15
イベントカレンダー ……	16

## 【巻頭言】ごみの出し方を注意してきれいなまちに



広報川越 4月10日号 p.17の記事



ルール違反のシールを張られたごみ

5月には春のごみゼロ運動の月です。25日の日曜日に市内一斉に行われる大きな行事です。3月10日号の広報川越に予告が出ていました。また、4月10日号の17ページに左の図のような「ごみの分別と出し方」についてのお願いが出ていました。ごみ出しがきちんとしている所もありますが、「収集日ではありません」と左下の写真のように赤い紙を貼られて取り残されているごみ袋が方々で見かけられます。生ごみの出し方も注意しないと、黄色いネットをかけただけでは、猫などに荒らされてごみが散乱してしまいます。

本来なら出した人が持ち帰って、指定日に改めて出すのが本当ですが、出した人は気づかないのでしょうか。近所の人でも後始末はやり切れません。では環境推進員の出番といっても、今の人数では対応できていないのが現状です。市は「きれいなまち、川越」を広く訴えており、去年の広報川越にも「ごみが増えています」と現状を訴える記事が出ていましたが、ごみ減量の具体策はまだ十分とは思えません。

ごみの中で資源化できるものは分別し、生ごみの水分は減らして、有機肥料に戻せば、ごみは減らすことができます。ごみが散乱ないようにちょっとの気遣いで、まちはきれいになります。健康な体作りとともにごみに気を使う人を増やさねばなりません。

かわごえ環境ネットの理事は今期で退任しますが、「人づくりはごみ問題から」をモットーに、地域でごみ問題の啓発にとともに努力してまいります。

かわごえ環境ネット 理事 小山弘・武田侃蔵

## 川越の自然を訪ねて (20) チョウの紹介 (その1) セセリチョウ



イチモンジセセリ

チョウの区分はふつう5つのグループに分けられます。アゲハチョウ科、シロチョウ科、シジミチョウ科、タテハチョウ科、それにセセリチョウ科のグループです。今回はセセリチョウ科について紹介したいと思います。

### 体のつくり

小さなはねに太い胴をもち、地味な感じの種類が多く、ほかの科のチョウとは体のつくりがかなり違います。小形で地味な色彩の種類が多く、太めの胴に体のわりに小さな三角形の前ばねが特徴です。ほかの科とは、大きな頭、離れてついた触角、触角の先が外側に曲がるなどが区別できます。

### セセリチョウ科のグループ

ほかの科のチョウを英語圏の国では Butterfly と言いますが、セセリチョウ科のチョウは Skipper と呼んで区別されています。日本では3つのグループに分けられ、チャマダラセセリ亜科、アオバセセリ亜科、そしてセセリチョウ亜科のグループが知られています。

#### (1) チャマダラセセリ亜科のグループ



キマダラセセリ

チャマダラセセリ、ダイミョウセセリ、ミヤマセセリ

#### (2) アオバセセリ亜科のグループ

アオバセセリ、キバネセセリ

#### (3) セセリチョウ亜科のグループ

イチモンジセセリ、キマダラセセリ、チャバネセセリ

### セセリチョウ科の生活サイクル

卵：まんじゅう形、プリン形で色はクリーム色、表面はつるりとしているものと、すじのあるものが多い。

幼虫：イモムシ形で頭が大きく目立ち、頭部、胴の部位に細かな毛が生えている。葉で袋状の巣をつくり成長に合わせてつくりかえる。

さなぎ：細長いつつ状で糸を葉などにかけて体を固定するスタイルで、巣の中で蛹化するものが多い。

丸顔に大きな目、離れてついた触角どこか子供っぽい表情で、前ばねを半開き、後ばねを水平に開く独特のスタイルでとまるセセリチョウを紹介しました。  
(猪俣昇)

◆かわごえ環境ネット会員募集 年会費個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円で本会の会員になると、この広報誌「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。入会についての詳細は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課環境推進担当、川越市役所本庁舎 5 階、Tel.049-224-5866）に問い合わせるか、かわごえ環境ネットホームページ（<http://kawagoekankyo.net>）をご覧ください。右の QR コードで入会案内にアクセスできます。



## かわごえ環境ネットからの募集

### 2014年川越のチョウを探して

川越でチョウを観察してから4年がたちました。会員の猪俣氏の努力で川越のチョウについて少しずつわかってきました。その種類数は50種類ほどで、雑木林や河川敷、草はら、市街地などの環境に適応しながら生息しています。そしてその分布の一端がわかってきました。

チョウは春の使者と思われませんが、1年中見られるモンシロチョウからゼフィルスのように初夏のわずかな間しか姿を現さないチョウまで出現時期はさまざまです。チョウは卵、幼虫、



蛹をへてチョウになる完全変態する生き物で、限られた植物に依存して、鳥や捕食性昆虫に食べられる生態系の一翼を担っています。

チョウを見続けると意外と多くの種類が観察され、チョウの視点にたつて環境との関係が分かってきます。定点で継続した観察を続けることで環境の変化やチョウの増減が分かります。今年もチョウの観察を行いますのでぜひご参加ください。

観察に参加される人はメールか FAX で住所および名前を書いて申し込みください。

#### 申込先

名前：過昌司

メール：qqdb3k39k@theia.ocn.ne.jp

FAX：049-246-1155

チョウ観察の手引き（手作り）、観察シートをお送りします。

（担当：猪俣昇、過昌司）

#### チョウの調査シート

月	日	チョウの名前	頭数	観察した場所	その環境	チョウの行動	写真の有無	その他

#### 「エコプロダクツ川越 2014」出展実行委員募集

7月19日（土）に2回目となる「エコプロダクツ川越 2014」が、川越市主催で開催されます。

かわごえ環境ネットでは、組織の特性を生かした展示を計画しています。これまで私たちが

活動してきた内容を市民に知ってもらい、環境や生き物を守る活動への参加を呼びかけ、親子連れで楽しく体験できる取り組みを考えています。

実行委員の役割は、①企画案の具体化。②事業の準備。③当日の設営などです。

本会の知恵とエネルギーを集めて意義ある取り組みにできるように、考え、実行するために会員の参加を期待しています。

実行委員への参加・問い合わせは、早めにかわごえ環境ネット事務局までお願いします。

会場・日時は、環境プラザ「つばさ館」(川越市鯨井 782-3) で7月19日(土) 10:00-15:00です。行事の詳細は、川越市ホームページ <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/www/contents/13627>

15522260/index.html をご覧ください。

(「エコプロダクツ 2014」 出展実行委員会  
委員長 横山 三枝子)



昨年の出展会場の様子

## 広報・かわごえアジェンダ 21 推進・事業運営委員募集 (応募期限 5月9日)

委員制を取っているかわごえ環境ネットの3つの専門委員会「広報委員会」「かわごえアジェンダ 21 推進委員会」「事業運営委員会」の今年度の委員を、会員を対象に公募します。

本会の事業にぜひご協力ください。

### 1. 広報委員会

業務：本誌の執筆・編集・印刷・発送、Webサイトの運営

会合：毎月1回

Microsoft Word による文書の作成・編集、E-mail のできる方を歓迎します。

### 2. かわごえアジェンダ 21 推進委員会

業務：川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」の推進(チェックシートの実施・集計、同計画に基づく事業の実施など)

会合：今年度は川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ 21 見直し勉強会開催のため、4週に1回ペースで前期は開催します。開催日は、5月16日、6月6日、7月4日、7月25日(いずれも金曜日)、時間は 17:00-19:00、場所は東洋大学

川越キャンパス学生ホール食堂棟1階学生食堂です。なお、委員でなくても参加は可能です。委員はちょっと、という方でもお気軽にご参加ください。

### 3. 事業運営委員会

業務：本会の全体事業(かわごえ環境フォーラム)、協働・参画事業(川の水質調査、エコプロダクツ川越 2014、郊外・川越まつり・歳末まち美化活動、アースデイ・イン・川越 立門前)等の企画・運営

会合：年間6回程度

応募・問い合わせは、社会・自然環境部会開催時または事務局(環境政策課環境推進担当)へ5月9日(金)(社会環境部会・自然環境部会開催日)までをお願いします。

なお、社会環境部会、自然環境部会は、すべての会員が会議に出席できるオープンな組織です。毎月第2金曜日午後開催です。積極的にご参加ください。

(小瀬博之)

## 第10回川の水質調査 6月8日実施、参加者募集 (5月24日総会前に説明会)



昨年の採水(左)と一昨年の水質測定(右)の様子

毎年6月に実施されている「身近な水環境の一斉調査」に合わせて、本会でも流域団体である「NPO 法人荒川流域ネットワーク」「新河岸川水系水環境連絡会」に協力して「川の一斉水

質調査」を2005年度より実施しています。今回、第10回となる「川の一斉水質調査」を6月8日（日）午前に実施します。

参加希望者は、5月9日に行われる社会環境部会または自然環境部会に出席いただいて、採水地点（42か所の定点）や水質測定の方法についての説明を受けた上で申し込んでいただきます

す。また、事前説明会を5月24日（土）の総会前（9:15-9:45）に川越市立博物館で実施します。部会に出られない方はこの日にご参加ください。

昨年の調査の様子、結果は本誌2013年7月号（No.081）に掲載されています。本会Webサイトでダウンロードできます。

（小瀬博之）

## 会員からの報告

### 吉田・笠幡・福田3地区田んぼからの報告

川越の吉田、笠幡、福田の3地区の田んぼで無農薬、無化学肥料による環境にやさしい稲作りが行われています。3地区では5月下旬から6月上旬にかけて田植えが予定されており、その準備が着々と進んでいます。

かわごえ環境ネットでは、これら3地区との共催で、環境の深化の度合いを観察し、生きものたちと共生する環境豊かな体験を通した子供たちの環境教育として、生きもの調査（観察）を予定しています。

また、生物多様性豊かな里山を復活させる活動を目的に今年度設立した「かわごえ里山イニシアチブ」では各地区と連携・協力して取りまとめを行うこととしており、ここに3地区の田んぼの状況を総括して報告します。

### 吉田地区田んぼからの報告

吉田の特別養護老人ホーム みなみかぜ田んぼでは、農薬、化学肥料をいっさい使わない生きものを大切にして、子供からお年寄りまで施設の利用者も一緒になっておいしいお米づくりに取り組んでいます。

4月中旬にアリスの牧場の協力を得て、最高の堆肥とされる馬糞を今年初めて田んぼに撒き、甘くておいしいお米が期待できそうです。

4月26日（土）、地域交流センターみなみかぜの中庭に柔らかな春の日差しが降り注ぐ中、家族連れの参加者がわいわいがやがや賑やかにポッド苗の種まきが行われました。

ポッド苗は1つのポッドに3粒づくの種をて



ポッド苗に大活躍の子供達



ビオトープで大はしゃぎの子供達

いねいに入れていきますが、単純作業でも根気のいる作業です。子供から大人まで平等にできる作業ですが、むしろ子供たちは大人顔負けの集中力を発揮し大活躍です。

種まきをひととおり終えた子供たちは、今度は田んぼの脇に設置されたビオトープめがけて一目散に水遊びです。

このビオトープは、自然の湧水を引きこんでおり、一年中生きものが育くむ場所となっており、子供たちにとっては安全で身近な生きものと触れ合える格好の遊び場となっています。みな

みかぜ恒例のどろんこ DAY を思わせるようなどろんこになっての水遊びに大はしゃぎです。

隣の田んぼでは、三村農園の巨大なマシンが豪快に土ぼこりを上げながら田起こしをしており子供たちは大喜びでした。

6月7日(土)は、この日からビオトープ脇の田んぼで育苗した苗で田植えが行われます。施設のみなさんも種まきした苗で、バケツ稲で稲作りに挑戦です。(増田純一)

### 笠幡地区田んぼから報告



畦畔撤去前の田んぼ(4月9日)  
(畦畔の右側が前年度実施の田んぼ)



田んぼの全景及び畦畔のかさ上げ作業(4月25日)

東洋大学環境コミュニケーションゼミと川越市農政課の協働により、20年近く休耕田であった土地を再生させ、笠幡地域の休耕田を解消するきっかけを作る目的で稲作を行っています。今年で2年目を迎え、隣接する田んぼの間にあった畦畔(けいはん)を撤去して、前年の2倍近くの面積(約900m<sup>2</sup>)で稲作を行うことになりました。

そのため、前年の収穫後に蒔いたゲンゲ(レンゲソウ)の花を見ることはほとんどできませんでしたが、ナズナをはじめ、さまざまな野草が春先には出ていて、まだ田んぼになりきれていない田んぼは第2ステージを迎えます。

4月25日(金)には、川越市農政課スタッフ、

農業指導の長岡氏、学生2名と私(小瀬)で大きくなった田んぼに合わせて畦畔のかさ上げを行いました。5月17日(土)には畦シートの設置、5月下旬に水が入り、5月31日(土)9:00-12:00に予定されている田植えに備えます。また、吉田・福田と統一した方法による生きもの調査は、6月29日(日)14:00-16:00に予定しています。

この活動は、主に大学生を対象に募集しますが、一般の方も参加可能です。問い合わせは小瀬(E-mail: hkose\*toyo.jp(\*は半角@に変換ください))までお願いします。

(小瀬博之)

### 福田地区田んぼからの報告



川越初?の福田地区のはるみず田んぼ(4月27日)  
(2反8枚)

福田地域では、「はるみず田んぼ」が始まりました。

入間川の中流域に寄り添い広がる水田地帯です。かわごえ環境ネットの会員でもある高梨農園さんの協力で、地域の親子が参加する田んぼ体験、生きもの調査を予定している田んぼ(約1.5反)を含め、1.6haの田んぼを今年から「はるみず田んぼ」として無農薬・無化学肥料栽培の“生きものを活かした農法”としてスタートします(他に減農薬・無化学肥料田んぼを約5ha耕作しています)。

自然・生活環境と農業を両立し、多くの人に田んぼに入ってもらい理解を助け、それを地域全体で取り組み、支えていきたいと思えます。

4月5日(土)には、年間を通して田んぼ体験・生きもの調査に参加する約35名の親子さんのオリエンテーション、見学会が行われました。農家さんからの説明に、みんな目を輝かせて期待を膨らませています。子どもたちも楽しそうに見学していました。5月31日(土)田植え、6月29日(日)午前には田んぼの生きもの調査を予定しています。

本田(1.6ha)は堆肥播き・耕起そしてはるみず田んぼと第1回目代かきを完了し、5月中旬に第2回目代かき・田植え(機械植え)を予定しています。生きものをふやす土づくりと雑草を出芽させ2回目の代かきで埋め込み、田の草を抑制するための準備期間です。

1.5 反の農業体験田んぼは5月始めに堆肥播き、湛水を行い、はるみず田んぼ・2回代かきを行い31日の田植えに向け進行中です。

一方、種まきは、播種機で苗箱366枚分を農家とサポーターズ5名で4月5日(土)に行い、30~50日間かけた苗づくりの真っ最中です。

川越地区としてはこれだけ大規模のはるみず田んぼはおそらく初めてではないかと思われま

す。この試みが成功し持続的に行うことができれば、豊かな生きものが育む生物多様性の田んぼが期待され、冬水田んぼで「コウノトリを育むモデル水田」に取り組んでいる鴻巣市の取り組みと相まって、コウノトリと共生する時代が来るのも夢ではないかもしれません。

この原稿を書いている4月下旬、千葉県いすみ市が今年から本格的にスタートし取り組んでいる「自然と共生する水田づくり推進事業」で、「コウノトリを育む有機稲作」を開始し、代かき・育苗と農作業が本格化する中で、モデル水田の近くに豊岡からコウノトリが飛んできたというニュースが飛び込んできました。

(田崎愛知郎)

## 田んぼ環境診断シートによる田んぼの生きもの調査

生きもの調査は、吉田地区は6月28日(土)、福田・笠幡地区は6月29日(日)に行われます。この生きもの調査は、生きもの指導グループ食楽風土(クラフード)の林鷹央氏が考案した「田んぼの環境診断チェックシート」で行われる予定です。難しい科学的調査ではなく子供たちが遊びながら見つけた生きものの点数から、田んぼの環境を計算して環境の度合いを診断するというものです。

環境教育と遊びを兼ね備えた楽しい生きもの調査(観察会)になることでしょう。

(田崎愛知郎)

## おわりに

2010年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締結国会議(CBD COP10)でこれまでに損なわれてしまった生物多様性を回復するための「愛知目標」が採択されました。2020年までの10年間でこれらの目標達成を目指し、さまざまな人たちと連携し生物多様性向上を目指しています。

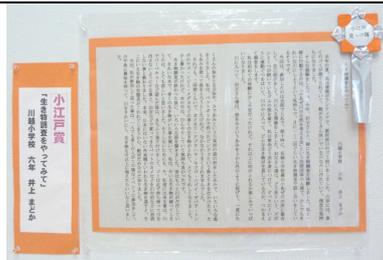
ラムサール・ネットワーク日本では「愛知ターゲット」の田んぼ版として「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト」の取り組みを開始しました。

「かわごえ里山イニシアチブ」も、4月23日にこのプロジェクトの連携事業として認定され登録されました。

おりしも2020年は川越でもオリンピックが開催される年でもあります。この川越の地から、小江戸川越だけではないコウノトリも育む事の出来る「2020年環境かわごえ」を発信していこうではありませんか!

## 作文紹介「生き物調査をやってみて」

かわごえ環境ネット団体会員のイベントに参加された井上まどかさんの作文を作者の了解を得て掲載させていただきます。この作文は「子どもサポートコンクール」にて小江戸賞を受賞されています。(賀登環)



生き物調査をやってみて

川越小学校 六年 井上 まどか

去年の夏、私は清掃ボランティアで新河岸川のゴミ拾いをしました。川岸には、多くのゴミが捨てられていて、鯉がたくさん泳いでいる川なのに汚れていて、残念な気持ちになりました。

そんな経験をした私は、今年、お父さんと一緒に生き物調査を体験しました。私と一緒に行動するのは、「小あぜ川の自然を考える会」という民間団体の人達で、少しでもきれいな川にしようという気持ちで、月に一〜二回くらい生き物調査や話し合いをしているそうです。

今回は、参加したのは全部で八名で、朝十時に、名細小学校裏の小あぜ川の所に集合して、自己紹介をして、川に入る準備をしました。お父さん達は、どう長というズボンとくつが続いているゴムの服を着て、私は救命どう衣を身につけて、すべりにくいように運動ぐつをはいて、川の中に入って、どんな生き物が生息しているのか、つかまえて調査をします。

私は初めての体験に少し不安だったけれど、それ以上に何が取れるか楽しみでいっぱいになりました。

川に入って、お父さん達は、投あみというあみを上から円のように投げて、一度にたくさん魚をとる方法や、さであみという三角形の袋の形をしたあみで、いろ

いろな魚をとりました。私はペットボトルで作ったビンドウという魚とりきを仕かけたり、たもあみを使ってとろうとしたけれど、なかなかうまくとれませんでした。それでも二時間くらいで、オイカワ・アブラハヤ・モツゴ・ニゴイ・ギバチ・トンボのヤゴ・シジミ・メダカなど多くの生き物がとれて、とてもうれしくなりました。少し暑かったけれど、水の中はひんやりしていて気持ち良かったです。

生き物調査が終わった後に、いろいろな話を聞きました。昔はもつと川がだ行していて、きれいな水で、多くの生き物がいた事を聞いて、私は、今いる生き物が減ってしまうのは、とても悲しいと思いました。そうしないためにも、今、私達に出来る事は、川でバーベキューなど遊んだ後は、きちんと後片付けをして、ゴミは必ず持ち帰って川を汚さないようにする事と、お店などで買ってきたペットのカメなどを川や沼などに放流しない事と教わりました。本来、日本にはいない外来種といわれる生き物を逃がすと、そこにいる生き物の生態系がこわれてしまうから、絶対だめなのだと思いました。

今回、私が参加して思った事は、一人でも多くの人がこの様なイベントに参加をして、川や魚に興味を持って、川をきれいにし、生き物も今以上に増えたらいいなと思いました。

## アースデイ東京 2014・アースデイいのちの森 2014 視察



代代木公園イベント広場がアースデイ東京の会場。4月19日午前は晴天に恵まれた。



【Aゾーン】農、食、フェアトレード、平和・国際貢献の様子



トークステージ「集まれ！全国のアースデイの仲間たち」では、武田氏が飛び入り参加し、場を盛り上げた。



アースデイ東京の実行委員長 C.W.ニコル氏の名前がついた売店。個体数の増加が問題となっているエゾジカ料理を販売していた。



アースデイキッチンは、食器持参で100円引き。店の食器を使った場合、食器拭き場で拭いて返却すると、会場で使える50円の割引券が渡される。



アースデイいのちの森は、明治神宮西芝地で開催され静かな雰囲気（C.W.ニコル氏、デニス・バンクス氏、野中ともよ氏の鼎談の様子）

### アースデイ東京 2014

今年の「アースデイ東京 2014」は、4月19・20日の両日にわたって代代木公園を会場に開催されました。天気にも恵まれ、来場者は合わせて14万人、出店ブースも400を超え、盛況のうちに終わりました。実行委員長はナチュラルリストのC.W.ニコル氏で、幅広い団体をまとめ、多くのボランティアの協力で運営されました。ローカル版アースデイ・イン川越の関係者も見学に参加して交流を深めました。

広い会場は6ゾーンに分かれていました。

#### A ゾーン<農、食、フェアトレード、平和・国際貢献>

もっともアースデイの趣旨に沿った活動団体が展示に工夫を凝らして活気がありました。メインステージでは、アメリカインディアンの人権活動家デニス・バンクスさんのトークや「憲法9条にノーベル平和賞を」アピール、歌に演奏と盛り上がりました。

#### B ゾーン<子ども・子育て、女性、ココロとカラダ>

おひさまネットワーク/子供未来測定所からマッサージの実演コーナーと多くの人で列ができていました。

#### C ゾーン<ライフスタイル、循環型社会>

廃油を原料に発電して場内の電力をまかなっているTOKYO 油田 2017、エコ雑貨協会など、多くの団体がアイデアを競い合っていました。

#### D ゾーン<森林・緑化、生物多様性>

身近な「お庭お助け隊」から国土緑化推進機構、一般財団法人 C.W.ニコル アファンの森財団など多くの団体が展示していました。また、えぞ鹿の肉を料理した「C.W.ニコル フォレストキッチン」には列ができていました。

#### E ゾーン<若者、東北・福島支援、福祉、政治、教育、アート&ピース>

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN の「ワカモノ×ミライ」のトークで歓声と拍手が響いていました。

## F ゾーン＜ソーシャルグッドな協賛企業、オフィシャルトークステージ、その他＞

東京メトロや東都生活協同組合、大地を守る会などととも、「集まれ!全国のアースデイの仲間たち」のコーナーもあり、アースデイ千葉やアースデイ富山の関係者がそれぞれの内容を披露していました。15回やっている川越も飛び入りで、10月5日に16回目をやりますと、関係者を代表して武田氏が宣言しました。ローカル版アースデイが方々で開かれることに期待が持てました。

岩手県の葛巻町も、自然エネルギーを生かしながらの町おこしで有名ですが、今回も町の職員を先頭に張り切って町の特産品の宣伝をしていました。静岡県からは竹炭、竹紙の活用で竹林の再生を図る会社も出ていました。川越でも竹林の活かし方が緑再生につながります。今回出展した多くの団体との交流を図って、アース

デイ川越の幅を広げたいとの参加者感想でした。  
アースデイいのちの森 2014

代々木公園の隣の明治神宮の森を生かして、境内の奥の西芝地を会場に「アースデイいのちの森」が、緑の再生と地球環境を考えるイベントとして開催されました。

TVのニュースキャスターの野中ともよさんが実行委員長で司会とトークと活躍していました。神宮の森は造成されて90年を超し、手入れが行き届いているので大都会の中とは思われないオゾンたっぷりの環境でした。森と大地を五感で味わうこの催しにぴったりの会場でしたが、神宮本殿を参拝してから会場へ方向が分かりにくく、参加者が少なかったのは残念でした。次は、アースデイ会場から臨時の近道でも作って相互に盛り上げる工夫がほしいと痛感しました。

(文：武田侃蔵、写真・コメント：小瀬博之)

## 川越市からのお知らせ

### 保存樹林の指定面積要件を緩和しました

環境政策課

現代に残る貴重な緑を保全し、潤いとやすらぎのあるまちとするため、一定基準を満たす樹林を「保存樹林」として指定し、所有者に対し保全に要する費用の一部として奨励金を交付しています。

保存樹林のさらなる指定拡充を図るため、平成26年4月1日より面積要件を従来の半分に緩和しました。指定基準に該当する樹林をお持ちの方は、環境政策課までお問い合わせください。

また、知り合いに樹林を所有している方がいれば、ぜひ本制度をご案内ください。

#### 【保存樹林指定基準】

固定資産税の課税地目が「山林」（非課税地は除く）で、市街化区域においては500平方メートル以上、市街化調整区域においては1,000平方メートル以上の健全で適正な維持管理がされている樹林。

## 理事会・専門委員会からの報告

### 理事会

第1回理事会を4月16日（水）13:30-15:30に、第2回理事会を4月22日（火）9:00-10:30に、それぞれ川越市役所 7E 会議室において開催しました。主な議事は次のとおりです。

①川越市環境政策課長が4月1日に変更となったため、前課長である島田友行理事を、現課長

の箕輪信一郎氏に変更する旨の届出があり、箕輪氏が残任期間理事になることが承認されました。

②5月24日（土）に開催される2014年度総会に向けて「総会議案書」（案）を作成し、内容を確認しました。

③エコプロダクツ川越の申込書の提出方法について確認し、東洋大学と共同出展で前年度と同じ場所を申請することにしました。

④定期総会の議事とキャスティングを検討しました。理事以外の方には確認を取ることになりました。(小瀬博之)

## 事業運営委員会

第1回事業運営委員会を4月16日(水)15:45-16:30に川越市役所7E会議室において開催しました。主な議事は次のとおりです。

- ①年間行事計画と主担当者を確認しました。
- ②第10回川の一斉水質調査は、小瀬・過昌司委員が担当、5月24日(土)9:15から事前説明、6月8日(日)に実施、北公民館で水質調査を行うことになりました。電気伝導率計を1台購入することにしました。
- ③エコプロダクツ川越2014は、実行委員会を別

途組織し、横山三枝子委員長を中心に過・村上両委員で企画することになりました。委員を別途募集しています。お手伝いください。

- ④郊外クリーン活動は、7月20日(日)9:30より例年通り川越警察署と伊佐沼周辺で実施することになりました。
- ⑤2014アースデイ・イン・川越立門前の出展は、本会とは別の組織である実行委員会において検討されている事項について武田氏より説明がありました。(小瀬博之)

## 社会環境部会

4月の例会は、福田ビル3階会議室にて、11名参加で会議を進めました。

新年度の部会の運営については、まず、6月の例会から部会の司会進行は、会員が交代で務めることにしました。また、ネット全体事業、部会事業、個別事業ともそれぞれのテーマに対して、正副の担当者を決めて運営することにしました。それぞれが、責任をもって遂行することにより、参画意識も高まり、会の活性化が図れるものと期待しています。

今年度の総会議案書の原稿として、2013年度

の部会事業報告については、フォーラム時の活動報告内容を踏襲するものとしました。

2014年度の事業計画案は、原嶋の原案に対して、武田さんより提案があり、「ごみの減量化と集積場の美化活動」をテーマに加えることにしました。

その他、部会の会計決算としては、2000円弱残が出ましたが、ほぼ有効に使うことができました。その他、会費の納入、保険の加入、アースデイ東京2014参加勧誘等で終了しました。

(社会環境部会代表 原嶋昇治)

## 自然環境部会

4月定例会は福田ビル3階にて10名の参加で開催されました。

### ①活動報告

- ・「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査:3月24日(月)14名参加、早春の植物(コスミレ・ウグイスカグラなど)の観察
- ・池辺公園:4月1日(火)6名参加、ウバユリ、

キツネノカミソリ、アズマイチゲの株数調査

・小仙波龍池弁財天カワモズク保全活動 該当の湧水池からコイが移され一応生息環境が保全された

②次年度の事業計画案についての話し合い 計画の詳細は総会資料に掲載

(自然環境部会代表 賀登環)

## かわごえアジェンダ 21 推進委員会

本委員会では、「川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ 21 見直し勉強会」と称する会合を今年度開催することになり、第1回を4月18日（金）17:00-19:30に東洋大学川越キャンパス学生ホール食堂棟1階学生食堂で実施しました。出席者は、小瀬・横山・武田・村上・渡辺・原嶋・過の7名でした。

今回は、日程の確認、2006年4月27日にまとめた「第二次川越市環境基本計画の策定に向けた行政への提言」の確認、見直し勉強会の基本方針の確認、次期総合計画の策定状況の確認、第三次川越市総合計画における社会状況の確認、緑の基本計画の内容確認と評価等を議題としました。

議事内容の詳細については、新たに「かわごえ環境ネット Wiki」を作成しましたのでそちらをご覧ください。URLは、  
<http://wiki.kawagoekankyo.net>  
です。

次回の課題は、  
・関連する計画を確認する。  
・第2次環境基本計画・アジェンダの総括。  
の2点です。次回開催日は、5月16日（金）17:00-19:00です。委員になっていただける方、また、委員にはならないけれど参加してみたいという方は、直接会場にお越しください。不明な点は小瀬または事務局までお問い合わせください。  
(小瀬博之)

## おしらせ

### かわごえ環境ネット主催行事（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

#### <会合>

#### ●社会環境部会（2014年5月度）

日時：5月9日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

#### ●自然環境部会（2014年5月度）

日時：5月9日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

両部会は、毎月第2金曜日の13:00-15:00、15:00-17:00の連続開催です。今回は6月13日（会場は福田ビル3階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

#### ●川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ 21 見直し勉強会（第2回）

日時：5月16日（金）17:00-19:00

場所：東洋大学川越キャンパス学生ホール食堂棟1階学生食堂（川越市鯨井2100）

第3回は6月6日（金）17:00-19:00に開催

#### ◆広報委員会（2014年5月度）

日時：5月21日（水）9:00-10:30（予定変更）

場所：川越市役所5階フリースペース  
（川越市元町1-3-1）

今回は6月18日（水）9:00-10:30に開催

#### ●2014年度かわごえ環境ネット総会

日時：5月24日（土）10:00-11:30

場所：川越市立博物館視聴覚ホール  
（川越市郭町2-30-1）

#### ●懇親会

日時：5月24日（土）12:00-13:30

場所：どんぐりの木（川越市大手町8-6）

#### ◆理事会（2014年度第3回）

日時：5月28日（水）9:00-11:30

場所：福田ビル3階会議室

#### <自然環境の調査・保全活動>

#### ★池辺公園定例活動（毎月第1火曜日）

日時：5月6日・6月3日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：菅野

#### ★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全活動

日時：5月12日・26日、6月9日・23日（月）  
9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）9:30  
（川越市今福1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

5月12日・6月9日は調査・観察会（絶滅危惧種の株数調査など）、5月26日・6月23日は保全作業。いずれも南文化会館（ジョイフル）9:30集合。事前連絡はいりません。

★一般対象イベント「新緑の雑木林観察会」

日時：5月18日（日）9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）9:30

（川越市今福 1295-2）

参加費：100円

申込：かわごえ環境ネット事務局（Tel.049-224-5866）

★川の一斉水質調査

日時：6月8日（日）8:00-12:00 ごろ

採水場所：川越市内各所

水質測定場所：川越市北公民館

（川越市氷川町 107）

参加者は、5月24日（土）総会前（9:15）の説明会にご出席ください。

★ゼフィルス調査

日時：6月5日（木）9:30-（雨天時は6日）

場所：安比奈親水公園

（川越市安比奈新田 140-1）

問い合わせ：猪俣（Tel.049-232-1101）

★イベント「田んぼの生きもの調査」

①吉田地域（みなみかぜ田んぼ）

日時：6月28日（土）9:30-12:30

会場（集合）：みなみかぜ地域交流センター（川越市吉田 204-2）。

問い合わせ：社会福祉法人健友会みなみかぜ 後藤（Tel.049-234-8500, Fax.049-239-5646）

②福田地域（高梨農園田んぼ）

日時：6月29日（日）10:00-12:00

場所：高梨宅（川越市福田 439）

問い合わせ：横山三枝子（Tel./Fax.049-246-9319）、高梨耕治（Tel./Fax.049-222-3264）

③笠幡地域（東洋大学・川越市再生水田）

日時：6月29日（日）14:00-16:00

場所：神明神社そばの現地（川越市笠幡、緯度 35.908922, 経度 139.399254）

問い合わせ：小瀬博之（hkose\*toyo.jp（\*は半角@に変換ください））

## 会員・関係団体の主催行事

●NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

☞森林公園かんさつ会

（5月と6月4日）国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）10:20集合、15:30ごろ終了解散。入園料要、参加費200円。お弁当持参。雨天決行。

◆5月7日（水）・5月18日（日）考える会主催

雑木林の中でさえずる渡り鳥やハルゼミの鳴き声を楽しみましょう。今年も羽化したハルゼミを探してみませんか。植物の解説は、太田先生です。

◆6月4日（水）考える会主催

◆6月15日（日）公園主催、当会協力

公園南口から入園、園内で受付。10:20集合、15:30頃終了解散、入園料要、お弁当持参。雨

天決行。

雑木林の中で初夏の花や昆虫を探してみませんか。15日の観察会の際には、ギンリョウソウの花とも出会えるかもしれません。植物の解説は、太田先生です。

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第3木曜日（13:30-15:00）

◆5月6日（火）・15日（木）

◆6月3日（火）・19日（木）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第2日曜日 (9:30-11:00)

◆5月11日(日)・6月8日(日)

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第4土曜日 (13:30-15:00)

◆5月24日(土)・6月28日(土)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞「川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃」

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へご連絡ください。

◆5月25日(日) 9:00-11:00

中流域、オアシス裏に集合、杉下橋方面と貝塚橋方面に分かれて流域清掃。オアシスで解散。

◆6月29日(日) 9:00-11:00

上流起点近くの八幡橋集合。上・下流清掃。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子(Tel.049-246-9319)

☞おいしく・楽しく農業体験

◆5月10日(土) 9:30 ごろ-12:30 ごろ

枝豆の植え付け等。

集合：明見院(川越市今福 677)

クラブ会費：1家族1,000円(保険代・備品代等)、クラブ員でない参加者は1人100円(保険代)とします。

2014年度予定表 ( )内は予備日

月	日	活動内容予定
5	10	枝豆の植え付け等
6	14	にんじん畑の手入れ、枝豆畑の片付け等
7	12	(16:00からの作業)とうもろこし畑の片付け
8		(休み月)
9	13	ブロッコリー、キャベツの収穫
10	11	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	8	里芋の収穫・芋煮会
12	13	大根の収穫・ビニールはがし
1	10(17)	雑木林の手入れ・落ち葉掃き
2	14(21)	雑木林の手入れ・落ち葉掃き
3	14	雑木林手入れ 焼き芋・スープ・あそぼうパン

●みなみかぜ いきいき田んぼの会(川越生物多样性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：社会福祉法人健友会みなみかぜ 後藤(Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646)

会場(集合)：みなみかぜ地域交流センター(川越市吉田 204-2)。

いつからでも、誰でも参加できます。あなたの関心や興味に合った活動と一緒に見つめましょう。

☞農作業

◆毎週 金・土曜日の午前中(10:00~12:00)。

5月2日(金), 9日(金), 13日(火), 16日(金), 20日(火), 23日(金), 24日(土), 27日(火), 30日(金), 31日(土)

地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

☞月例会

◆5月10日(土) 10:00-11:30

今後の予定を決めたり、会員で話題にしたいことを持ち寄り話し合っています。

☞田さらい&どろんこ DAY

◆5月17日(土) 10:00-12:00

田んぼ遊び、綱引きなど。

☞田植え

◆6月7日(土) 午前中

詳細はお問い合わせください。

☞田んぼの生きもの調査

◆6月28日(土) 9:30-12:30

福田・笠幡地区、かわごえ環境ネットとの連携による生きもの調査。

●高梨農園

問い合わせ・申し込み：横山三枝子(Tel./Fax.049-246-9319)、高梨耕治(Tel./Fax.049-222-3264)

☞田植え

◆5月31日(日) 10:00-12:30 ごろ

予備日 6月1日(日)

集合場所：高梨宅(川越市福田 439)

詳細はチラシを送ります。

☞田んぼの生きもの調査

◆6月29日(日) 10:00-12:00(既述)

吉田・笠幡地区、かわごえ環境ネットとの連携による生きもの調査。

●東洋大学環境コミュニケーションゼミ

問い合わせ:小瀬博之(E-mail: hkose\*toyo.jp(\*は半角@に変換ください), Fax.049-239-1532)

☞田植え(笠幡水田再生プロジェクト)

◆5月31日(土) 9:00-12:00

川越市農政課と協働して笠幡の耕作放棄地を再生するプロジェクトを今年度も展開しています。場所は笠幡の神明神社の東側になります。今年は面積が約2倍となるので多くの人出が必要です。参加される方はご連絡ください。

☞田んぼの生きもの調査(笠幡水田再生プロジェクト)

◆6月29日(日) 14:00-16:00(既述)

吉田・福田地区、かわごえ環境ネットとの連携による生きもの調査。

☞「こもれびの森・里山支援隊」発足

東洋大学が所有する6.2haの「こもれびの森」「大越記念庭園(南側)」の保全を市民との協働で実施するための組織「こもれびの森・里山支援隊」が発足します。6月の設立総会開催から、3月まで毎月保全活動を実施するとともに、イベントとして観察会や農用林整備・利用の体験会などを年3回程度開催します。詳しいご案内を今後この欄を使用してお伝えしていきます。

●公益財団法人埼玉県生態系保護協会

川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ:笠原啓一(Tel.049-222-0957)、当

日の携帯電話連絡(Tel.080-6584-3010)

☞伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日)

時間:10:00集合-12:00(小雨決行)

集合:伊佐沼西岸蓮見橋、解散は集合場所で12:00ごろ。持ち物:筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物。参加費:300円、高校生以下100円(保険料・資料代として)

◆5月11日(日)

10日からバードウィークです。子育ての季節になった鳥たちの雛が無事育つよう見守る行事です。伊佐沼の鳥たちの子育てを観察します。コアジサシ、カイツブリ、シジュウカラの鳴き声も聞いて覚えましょう。

◆6月8日(日)

カルガモは10羽ぐらいのひな連れ、カイツブリは背中におんぶしたひな連れが見られます。コアジサシは空中からダイビングして餌の魚を捕え、黒いしゃれた衣装のバンは首を前後に振りながら泳ぎます。来月に花を咲かせるハスも芽を出しました。

●第16回アースデイ・イン・川越実行委員会

問い合わせ:武田侃蔵(Tel.090-2521-5770)

☞実行委員会

◆5月13日・6月10日(火) 19:00-21:00

場所:中央公民館

10月5日(土)に開催する2014アースデイ・イン・川越立門前に向けて毎月第2火曜日に実行委員会を開催しています。

広報委員会からのお知らせ

●埼玉県川越県土整備事務所4月幹部異動

所長 飯塚孝、副所長兼道路施設公園部長 長嶺俊広、道路環境部長 村田隆史、河川部長 長浜巖

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2014年6月号(No.092, 6月1日発行予定)の掲載原稿は、5月15日(木)必着です。原稿

と写真は、電子データを編集担当共有のメールアドレス(koho@kawagoekankyo.net)にお送りいただくか、かわごえ環境ネット事務局にご提出ください。

ご投稿いただくのが遅くなりますと編集に支障が出るため、まことに恐れ入りますが早めの投稿をお願いいたします。

## イベントカレンダー (5月4日~6月18日)

日	月	火	水	木	金	土
5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	5/6 振替休日 ★9:00 池辺公園 定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	5/7 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	5/8	5/9 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会 ○専門委員会委員 応募・エコプロダクツ 共同出展申込期限	5/10 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎10:00 月例会 (みなみかぜ)
5/11 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐召び ードウォッチング	5/12 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地調査・観 察会	5/13 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ◎19:00 アース デイ実行委員会	5/14	5/15 ◎13:30 まち 美化啓発運動 ○本誌6月号 投稿締切	5/16 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ●17:00 アジ ェンダ勉強会	5/17 ◎10:00 田さら い&どろんこDA Y (みなみかぜ)
5/18 ★9:30 新緑の 雑木林観察会 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	5/19	5/20 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	5/21 ◆9:00 広報委 員会	5/22	5/23 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ○会費納入期 限	5/24 ★9:15 水質調 査事前説明会 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ●10:00 総会 ●12:00 懇親会 ◎13:30 まち 美化啓発運動
5/25 ◎9:00 川の国 応援団	5/26 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地保全作業	5/27 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	5/28 ◆9:00 理事会	5/29	5/30 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	5/31 ◎9:00 田植え (東洋大学) ◎10:00 田植え (高梨農園) ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)
6/1	6/2	6/3 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	6/4 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	6/5 ★9:30 ゼフィ ルス調査	6/6 ●17:00 アジ ェンダ勉強会	6/7 ◎午前中 田 植え (みなみ かぜ)
6/8 ★午前 川の 一斉水質調査 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐召び ードウォッチング	6/9 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地調査・観 察会	6/10 ◎19:00 アース デイ実行委員会	6/11	6/12	6/13 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	6/14 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎10:00 月例会 (みなみかぜ)
6/15 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会 ○本誌7月号 投稿締切	6/16	6/17	6/18 ◆9:00 広報委 員会	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

## 月刊 かわごえ環境ネット 2014年5月号 No.091

発行日 2014年5月1日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>